



イオン北海道からみなさまへ

エコフィード100%給与牛肉を イオン道産デーに販売しました



Coca-Cola

AEON



RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY
酪農学園大学



茶粕発酵
サイレージを
開発・給与

エコフィードの利用推進で、持続可能な社会の構築へ

イオン北海道は、北海道コカ・コーラボトリング株式会社と学校法人酪農学園が共同研究を進めている『エコフィード※1 給与対象 肉牛』が順調に肥育し、この度出荷を迎えるにあたり、5月19日（金）から3日間実施した「イオン道産デー」において、イオン江別店、イオン札幌桑園店、イオン札幌元町店、イオン新さっぽろ店、イオン札幌発寒店の5店舗の畜産売場にてこの肉牛を販売しました。

酪農学園大学は、企業が食品製造の際に排出される加工副産物、製造残渣を利用した家畜用飼料の開発に取り組み、循環型社会の形成に寄与するエコフィードの研究を推進しており、北海道コカ・コーラボトリング株式会社はお茶飲料製品製造時に発生する茶粕を酪農学園大学へ提供し、

茶粕発酵サイレージ化※2への共同研究を行っています。

エコフィードの利用を推進することで、廃棄物量の削減、国内飼料率の向上、飼料価格の安定、畜産農家の経営安定につながるほか、地産地消や製造過程の公表、安全・安心な食肉生産という観点からも持続可能な社会の構築に寄与します。

※1:エコフィードとは
環境にやさしい(エコロジカル)や節約する(エコノミカル)等を意味する「エコ」と飼料を意味する「フィード」を併せた造語で、1.食品製造副産物 2.余剰食品 3.調理残渣 等を利用し製造された家畜用飼料のことです。

※2:茶粕発酵サイレージとは
北海道コカ・コーラボトリング株式会社札幌工場で製造の「お茶製品製造残渣」を小麦粉、ふすまなどと混合し、約1カ月の発酵期間を経て完成。これを肉牛用の餌として給与しています。

SDGsの取り組み



SDGs(持続可能な開発目標)とは、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。この取り組みによりSDGsの目標12、17の達成に貢献します。